

◎第5学年授業改善プラン

☆印については、ご家庭で取り組んでいただきたいことです。

	現状分析（児童の実態） ○成果 ●課題	・学校での取り組み（授業改善プラン） ☆家庭学習ポイント（保護者の方々へ）	チェック
国語	○区学力調査の平均正答率は75.9%で、区平均を0.5ポイント上回った。 ○「物語の内容を読み取る」問題では、平均正答率が91.5%で、区平均を3ポイント上回った。 ●「漢字を書く」問題は約8ポイント、「パンフレットの内容をもとに話し合う」問題は約4ポイント正答率が区平均より下回った。	・定期的に漢字テストを行い知識の定着を図る。作文など文章を書く際も漢字を使い、正確に書くことができるように指導をする。 ・文章から読み取ったことや、自分の考えを相手に応じて分かりやすく伝えられるようにする。 ☆様々な考え方に触れられるよう、新聞や本を読む機会を増やしてください。また、文章を書く際に、漢字の使用状況なども見ていただき、漢字を使うよう声かけをしてください。	
社会	○調べ学習に意欲をもって取り組む児童が多く、調べたことをノートにまとめたり、相手に伝えたりすることができる。 ●単元テストを観点別に比べると「知識・理解」が、他の観点に比べて低い。	・授業の最後にプリント学習などの練習問題に取り組み、知識の定着を図る。 ・単元のまとめとして、新聞作りやポスター作りなどの活動をして、単元に関する理解を深める。 ☆ニュースや新聞で話題になっていることを家庭でも話題にして、その国や地域が出たときに、一緒に地図帳などを見て確認するなど、関心をもたせてください。	
算数	○区学力調査の平均正答率は71.1%で区平均値を1.1ポイント下回った。 ○「分数」「わり算」「少数」で区平均を上回った。 ●「億と兆、がい数の表し方」「角の大きさ」が、区平均を大きく下回っている。	・朝学習、宿題等を利用して、東京ベーシックドリル、スキルアップ等を活用し、基礎問題を繰り返し解くことにより、基礎学力の定着を図る。 ☆宿題に出された問題が正しく解けているか見てあげてください。子供に丸付けをさせるだけではなく、間違えている問題は何度もやり直しさせてください。	
理科	○自分の予想を確かめようと進んで実験する児童が多い。 ●単元テストを観点別に比べると、「思考力・表現力・判断力」が他の観点に比べて低い。	・問題に対して予想や仮説をもち、条件に着目して実験を計画したり、実験から分かったことなどの自分の考えを分かりやすく表現したりできるように指導する。 ☆理科で学習している内容を問いかけ、家族のみなさんが子供から説明を聞く時間を作ってください。子供は説明することで理科への関心が高まり知識が定着します。	
音楽	○積極的、意欲的に音楽活動に取り組む姿が見られる。 ●合奏で、思いが先走り自分の演奏だけに没頭してしまい、周りとは合わなくなってしまう児童がいる。	・合奏において、全体の中での自分の役割を意識させ、相手の音を聴きながら演奏できるよう声かけをする。また、グループ発表などで、友だちの演奏を客観的に見たり聴いたりする場を設ける。 ☆授業で扱った曲や、日常流れている音楽について話題にし、お子さんと一緒に楽しんでください。また、楽器で困っていることがあれば、できるだけ練習につきあってあげてください。	
図工	○自分なりの工夫を考え、色や形に表現しようとしている。新しい技法や材料に対して関心が高く意欲的に取り組んでいる。 ●時間配分を考えずに気分で制作を進めてしまう児童がいる。	・実現可能な制作内容を例示し、見通しを立てたり、やり方を工夫する時間を確保したりしてじっくり取り組ませるよう指導する。 ・指導計画を見直し、前に学んだ技術を次の課題に活かせるような制作活動を準備する。 ☆お子さんが図工の授業で経験したことや、展示された作品のことなどを話題にして、共感してあげてください。また写真や映像、衣服や食べ物など身近に感じた美しいと思う気持ちや感動を、言葉にして話し合っあててください。	
家庭	○学習に意欲的に取り組んでいる。 ●日常生活において手縫いをする機会が少ない傾向にあり、縫い方等をイメージしづらいことがある。	・学校で学んだことを、日常生活でも活かせるような機会を設ける。 ・視覚的に分かりやすい提示をする。 ・反復練習をさせる時間を多く設ける。 ☆学習したことを、実際に家庭で実践できるような課題を設けますので、励みになるような声かけをしてください。	
体育	○体力テストの結果より、全国平均と比較してほぼ同じでバランスよく力が付いている。 ●「20mシャトルラン」が全国平均を下回っている。	・体力を高める運動「持続する能力」を授業の中で積極的に取り入れる。 ・準備運動等で、いろいろな鬼遊びを行うなど、普段からできる運動遊びを紹介する。 ☆日頃から外で遊ぶように声をかけてください。また、休日などには、なわ跳びや鉄棒、ランニングなどご家族一緒に取り組むことが大切です。	